

竹林整備

竹林整備の作業は多種多様です。参加者それぞれに合わせた作業を振り分け、手分けをして行っています。里山に入って汗を流すことで心も体もリフレッシュできるそうです。竹林整備に関心があり、全国各地から参加される方もいらっしゃるということです。



伐採した竹を運び出す様子



急斜面での竹林整備の様子



春には筍掘りも！



整備前：枯れた竹が絡みつ়竹林



整備後：光が差し込む竹林

人の手が入らなくなってしまう竹林は、太陽光を遮り、地下茎の拡大により他の植物を枯らしてしまう等の生態系への影響、土壌悪化からの土砂災害を引き起こしてしまうことが問題視されています。定期的な整備を続けることで里山の環境が保全されます。

放置竹林を竹財へ！

伐採した後の竹の処理も課題のひとつです。竹もりの里では伐採した竹や買い取った竹を資源として有効活用する取り組みを行っています。

重労働な竹林整備において、事業収益を得ることで、持続した活動を目指しています。



伐採された竹や買い取った竹



竹工芸に使う竹ひごを作る様子



編み込んでいる途中の竹かご

ポーラス竹炭

ポーラス竹炭の無数の穴が地中の微生物に作用し、良質な土壤改良剤となります。



ポーラス竹炭作りの様子



ポーラス竹炭



竹炭を使って育てた野菜

竹パウダー

竹パウダーの活用は、土壤改良剤、養鶏の飼料、バイオプラスチックの原料など多岐にわたります。



竹の粉碎機



竹を粉碎する様子



袋詰めされた竹パウダー



竹パウダーを畑にすき込む様子



微粉碎された竹粉



竹粉が使われたプラスチック製品

イベント・ワークショップ

イベントやワークショップで幅広い世代の方々に竹に触れてもらうことで、竹害の問題や里山について考えてもらう活動を行っています。また、近隣の学校と連携し、竹切り体験や竹工作を通じて、次の世代の子どもたちに興味を持ってもらうことにも取り組んでいます。



イベントへの出展の様子



ワークショップの様子



工作教室の様子

竹コンポスト

コンポストとは？

コンポストは、生ごみなどの有機物を微生物の働きで分解し、肥料（堆肥）を作るための容器や、その方法のことをいいます。生ごみの減量につながり、できた堆肥は植物の肥料として再利用ができるため、環境に優しい取り組みです。



■ 竹もりの里の竹コンポスト

竹もりの里が開催しているワークショップの中で特に力を入れている取り組みの1つが、竹からできた竹パウダーと竹炭を使った竹コンポストになります。

竹1本から生まれる素材を使い、家庭から出る生ごみを分解し堆肥にすることで、ごみの焼却量を減らし、無駄なエネルギーの削減を目指します。

できた堆肥は、家庭菜等の肥料として使うことで、食物の循環サイクルを作り出します。

個人で始めるられる環境保全への取り組みのひとつです。



■ コンポストDIYワークショップの様子



■ 竹由来の消臭効果も！



■ 実際に使われているコンポスト



■ コンポスト堆肥で育てた苺

竹林整備のご案内

竹もりの里では竹林整備のボランティアを募集しています。

日程等の詳細はホームページやInstagramで案内をしていますのでご確認ください。

自然の中で体を動かして、心も体もリフレッシュしてみませんか？ご参加お待ちしております。

< 問い合わせ先 >

NPO法人 竹もりの里

〒297-0121 千葉県長生郡長南町長南 2011

TEL : 0475-47-4348

Mail : info@takemori.org

URL : <http://takemori.org>



@NPO_TAKEMORINOSATO